

○大学生との交流を通じた集落の活性化

1. 評価結果

総合評価

良

地目別分類

田型

規模別分類

小規模

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	福島県M市 N集落協定			
協定面積 3.8ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稲			
交付金額 80万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員手当		6%
		水路・農道維持管理費		3%
		生産性・収益向上対策費		40%
		その他		1%
協定参加者	農業者13人			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

(1) 水田の現状を維持管理することを取組の核とし活動することとした。

そのため、担い手を育成し、農作業受委託や共同作業の構築を図り、耕作放棄地を防止するとともに、都市住民との交流を推進しながら集落等の活性化を図る。

(2) 平成17年より当地域（旧S村）で取り組んでいる「グリーンツーリズム事業」と連携し、都市住民（日本大学経済学部学生）の農作業体験や民泊に積極的に取り組んでいる。これを起点として、地場農産物のPRや新たな流通形態の構築を図りつつ、化学肥料に頼らない、有機質資材を用いた高付加価値型農業の実践に取り組み、集落及び地域の活性化を目指している。



都市住民の農作業体験



学園祭での交流PRとの農産物販売

【平成19年度までの主な効果等】

- 高付加価値型農業の実践による農業所得の向上
 - ・ 化学肥料に頼らない、有機質資材を用いた農産物の生産と新たな流通形態の構築
- 認定農業者の育成（平成17年1名→平成18年2名）
- 都市住民との交流による地域の活性化
 - ・ グリーンツーリズムと連携した大学生の農作業体験と民泊

集落協定の評価結果（福島県M市N集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	○	—	○	
農業生産活動 等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等	○	—	○	—	○	
	農地の耕作・管理						
	農地法面の管理						
	水路・農道等の管理	○	—	○	—	○	
	水路の管理						
	農道の管理						
	多面的機能を増進する活動	○	—	○	—	○	
	土砂流亡に配慮した営農						
	景観作物の作付け						
農用地等保全マップの作成・実践		○	—	△	—	△	
農業生産活動等の継続に向けた取組	生産性 収益向上	機械・農作業の共同化				○	
		高付加価値型農業の実践	○	0.3ha実施	0.2ha		67%
		地場産農産物の加工・販売					
	担い手 育成	新規就農者の確保					
		認定農業者の育成	○	2名確保	2名		100%
		担い手への農地集積	○	1ha	1.5ha		150%
		担い手への農作業の委託					
	多面的 機能の 発揮	保健休養機能を活かした交流	○	0.2ha	0.2ha		100%
		自然生態系の保全に関する連携					
		多面的機能の持続的発揮に向けた連					
B要件	集落を基礎とした営農組織の育成						
	担い手集積化						
加算措置	規模拡大加算						
	土地利用調整加算						
	耕作放棄地復旧加算						
	法人設立加算						
					総合評価	良	

○有害鳥獣被害対策への取り組み

1. 評価結果

総合評価

良

地目別分類

畑型

規模別分類

標準

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	山梨県F市 K集落協定			
協定面積 11.7ha	田	畑 (100%) 11.7ha	草地	採草放牧地
交付金額 81万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	役員報酬		4.9%
		農道・水路管理		22.2%
		鳥獣被害防止対策		60.6%
その他		12.3%		
協定参加者	農業者45人			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- (1) 果樹中心の農業地域であるが傾斜地で作業や生産の効率が低く、また、高齢化や後継者不足、さらには、鳥獣害被害が多いことなどで将来の農業経営に対する不安などを抱えている。このため、将来退職帰農者をはじめとする就農者が容易に経営を始め基盤を維持する体制整備として地域営農リーダー的組織の構築や、集落全体が安心した農業経営ができるように鳥獣被害から農地を守る対策を講じていく。
- (2) 有害鳥獣被害対策として、共同で集落外周に鳥獣被害防止のための防護柵を設置し、より効果的な被害防止を図るとともに、また、防護柵の維持管理についても共同取組活動として交付金を充て、各農家への負担軽減を図っている。



集落外周に共同でイノシシ防護柵を設置



集落外周に共同でイノシシ防護柵を設置

[平成19年度までの主な効果等]

○ 集落の力で困難を解消

- ・ 有害鳥獣被害対策として、共同で集落外周に鳥獣被害防止のための防護柵を設置し、より効果的な被害防止を図るとともに、また、防護柵の維持管理についても共同取組活動として交付金を充て、各農家への負担軽減を図っている。

集落協定の評価結果（山梨県F市K集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	○	—	◎	
農業生産活動 等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等	○	—	○	—	◎	
	農地の耕作・管理						
	農地法面の管理						
	水路・農道等の管理	○	—	○	—	○	
	水路の管理						
	農道の管理						
	多面的機能を増進する活動	○	—	○	—	○	
	土砂流亡に配慮した営農						
	景観作物の作付け						
農用地等保全マップの作成・実践		○	—	○	—	○	
農業生産活動等の継続に向けた取組	生産性 収益向 上	機械・農作業の共同化				△	
		高付加価値型農業の実践	○	6 ha実施	0 ha		0%
		地場産農産物の加工・販売					
	担い手 育成	新規就農者の確保					
		認定農業者の育成	○	1名確保	0名		0%
		担い手への農地集積					
		担い手への農作業の委託					
	多面的 機能の 発揮	保健休養機能を活かした交流					
		自然生態系の保全に関する連携					
		多面的機能の持続的発揮に向けた連					
B 要件	集落を基礎とした営農組織の育成					—	
	担い手集積化						
加算措置	規模拡大加算						
	土地利用調整加算						
	耕作放棄地復旧加算						
	法人設立加算						
					総合評価	良	

○棚田オーナー制度、体験農園の開設

1. 評価結果

総合評価

良

地目別分類

田型

規模別分類

標準

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	岐阜県Y町 A集落協定			
協定面積 6.8ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻・野菜			
交付金額 143万円	個人配分			50.0%
	共同取組活動 (50.0%)	電気柵・防護ネットの設置		1.4%
		農地、農道、水路及び河川の草刈り並びに管理		26.8%
		棚田オーナー制度		11.2%
		ホタルの保護活動		2.8%
その他		7.8%		
協定参加者	農業者45人			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- (1) 転作田に景観作物の作付けや農作業の委託を図る。また、体験農園を開設し、棚田オーナー制度の受け入れを積極的に行う。
- (2) 本集落はY町北西部の山間地にあり、過疎化・高齢化のため、農地の耕作放棄や荒廃が懸念されていた。そこで平成18年度から本制度に取り組み、景観作物の作付けや担い手への農作業の委託、体験農園を開設して棚田オーナー制度を取り入れるなどの取り組みを行っている。また、鳥獣害防止施設の設置、草刈り、水路・農道等の管理、河川の清掃・浄化や農薬の軽減、またホタルの保護活動にも取り組んでいる。



棚田オーナーによる田植え



棚田オーナーによる稲刈り

【平成19年度までの主な効果等】

- 担い手への利用集積による体質強化 実績0.1ha（21年度目標0.8ha、）
- 棚田オーナー制度での都市住民等との交流による地域活性化 実績8組（21年度目標10組）
- ホタルの保護活動（河川の清掃や減農薬栽培を実施し、養殖したカワニナを放流した）

集落協定の評価結果（岐阜県 Y 町 A 集落協定）

項目	該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
				達成率		
A 集落マスタープランの達成状況	○	—	○	—	○	
農業生産活動等として取り組むべき事項	B 耕作放棄の防止等					○
	①賃借権設定・農作業の委託	○	—	△	—	
	④既耕作放棄地の保全管理	○	—	○	—	
	⑤農地の法面管理	○	—	○	—	
	⑥鳥獣被害防止対策	○	—	○	—	
	C 水路・農道等の管理					○
	①水路の管理	○	—	○	—	
	②農道の管理	○	—	○	—	
	D 多面的機能を増進する活動					○
	①周辺林地の下草刈	○	—	△	—	
	③棚田オーナー制度	○	—	○	—	
	⑥景観作物の作付け	○	—	△	—	
	⑦魚類・昆虫類の保護	○	—	△	—	
農業生産活動等の継続に向けた取組	E 農用地等保全マップの作成・実践					○
	①農地法面、水路・農道等補修・改良	○	—	△	—	
	②鳥獣害防止対策	○	—	△	—	
F A要件					△	
担い手育成	④担い手への農作業の委託	○	0.8ha	0.1ha		13%
多面的機能の発揮	①保健休養機能を活かした都市住民等との交流	○	0.35ha	0.22ha		63%
	②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携	○	—	△	—	
総合評価					良	

○活力ある自立した集落をめざして

1. 評価結果

総合評価

良

地目別分類

田型

規模別分類

大規模

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	新潟県M市 T集落協定			
協定面積 59.5ha	田(100%) 水稲	畑(%)	草地	採草放牧地
交付金額 1,250万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員手当・事務費		3%
		水路・農道維持管理費		6%
		共同機械購入費		8%
		法人設立関係費		30%
	その他		3%	
協定参加者	農業者 68人			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

(1) 「緑豊かな自然と棚田を守り、魅力ある地域づくり」のスローガンのもと、①農業生産法人の設立、②特産品開発や直売ルートの確立、③都市農村交流や地域外との連携による活性化に取り組むこととしている。

(2) 18年4月に(有)T農産が設立、今後、同法人への利用集積等を進めるほか、魚沼米以外の農産物の特産化を図る。都市との交流では、小、中、高校生を対象とした田植え、収穫体験ツアーの受入のほか、棚田オーナーの募集も行っている。

また、19年7月には本集落を拠点に、棚田や集落の豊かな自然環境など地域資源を活かした「南魚沼やまとくらしの学校」をNPO法人が開校、農業体験等の受入などに取り組んでいる。



農業体験ツアー（田植え）



農業体験ツアー（収穫）

[平成19年度までの主な効果等]

- 法人の育成による継続的な農業生産体制の整備
 - ・ 農業生産法人の設立（18年度設立）
 - ・ 法人への利用集積 11.0ha
- 農業体験交流、棚田オーナーの募集等による都市農村交流の推進
 - ・ 小、中学校、高校対象の農業体験ツアー受入（田植え、収穫）7校(H18)
 - ・ 体験農園 0.6ha 棚田オーナー 0.2ha

集落協定の評価結果（新潟県M市T集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	○	—	○	
農業生産活動 等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等					○	
	賃借権設定・農作業の委託						
	農地法面の管理	○	—	○	—		
	水路・農道等の管理					○	
	水路の管理	○	—	○	—		
	農道の管理	○	—	○	—		
	多面的機能を増進する活動					△	
	周辺林地の下草刈	○	—	○	—		
棚田オーナー制度	○	—	△	—			
農用地等保全マップの作成・実践		○	—	○	—	○	
農業生産活動等の継続に向けた取組	A要件 生産性 収益向 上	機械・農作業の共同化	○	6ha	10.2ha	170%	△
		高付加価値型農業の実践	○	1ha	1ha	100%	
		地場産農産物の加工・販売					
	担い手 育成	新規就農者の確保					
		認定農業者の育成					
		担い手への農地集積					
		担い手への農作業の委託					
	多面的 機能の 発揮	保健休養機能を活かした交流	○	3.5ha	0.8ha	23%	
		自然生態系の保全に関する連携	○	—	○	—	
		多面的機能の持続的発揮に向けた連					
B要件	集落を基礎とした営農組織の育成					○	
	担い手集積化	○	12.0ha	11.0ha	92%		
加算措置	規模拡大加算						
	土地利用調整加算						
	耕作放棄地復旧加算						
	法人設立加算						
					総合評価	良	

○高齢化に伴う省力的農地保全

1. 評価結果

総合評価 **良** 地目別分類 **畑型** 規模別分類 **小規模**

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	奈良県 G市 N集落協定			
協定面積 1.6ha	田 (%)	畑 (100%) 柿・梨	草地	採草放牧地
交付金額 19万円	個人配分			21%
	共同取組活動 (79%)	役員報酬		26%
		農道・園内道整備費		53%
協定参加者	農業者2人			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- (1) 農業者の高齢化による作業効率の低下に伴い、作業道の整備・補修及び防除用水の常時確保を可能にし機械・農作業の協同化により、低農薬・減労力での生産性の向上を目指す。
- (2) 今後、耕作放棄地に進展する可能性のある部分を市民農園として活用し、農地の荒廃を防止し、集落の活性化を図る。



整備作業道



除草作業

[平成19年度までの主な効果等]

- 作業道の整備 250m
- 市民農園の開設（目標830㎡ 19年度現在500㎡）

集落協定の評価結果（奈良県G市N集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価		
					達成率			
集落マスタープランの達成状況		○	—	△	—	△		
農業生産活動 等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等	○	—	○	—	○		
	農地法面の管理							
	水路・農道等の管理	○	—	○	—	○		
	農道の管理							
	多面的機能を増進する活動	○	—	○	—	○		
	土砂流亡に配慮した営農							
	農用地等保全マップの作成・実践		○	—	○	—	○	
	農業生産活動等の継続に向けた取組	生産性 収益向 上	機械・農作業の共同化	○	1.7ha	0ha	0%	△
			高付加価値型農業の実践					
地場産農産物の加工・販売								
担い手 育成		新規就農者の確保						
		認定農業者の育成	○	1名	0名	0%		
		担い手への農地集積						
		担い手への農作業の委託						
多面的 機能の 発揮		保健休養機能を活かした交流	○	830㎡	500㎡	60%		
		自然生態系の保全に関する連携						
		多面的機能の持続的発揮に向けた連携						
B 要件	集落を基礎とした営農組織の育成							
	担い手集積化							
加算措置	規模拡大加算							
	土地利用調整加算							
	耕作放棄地復旧加算							
	法人設立加算							
					総合評価	良		

○周辺林地等を活用した消費者との交流基盤づくり

1. 評価結果

総合評価 **良** 地目別分類 **畑型** 規模別分類 **標準**

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	長崎県N町 M集落協定			
協 定 面 積 18.6ha	田 (6%)	畑 (94%)	草地	採草放牧地
	水稲	みかん		
交 付 金 額 224万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員手当		7%
		農地、水路・農道の維持管理費		27%
		その他、施設整備積立費		16%
協 定 参 加 者	農業者16人			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- 主要農産物のみかんの価格低迷と農業従事者の高齢化等による担い手不足が懸念され農業経営の維持が困難な状況にあったため、協定参加者の共同活動として道・水路等の定期的な点検や維持管理を行い、オペレーターを育成して機械・農作業の共同化を図ることにより、労働力の低減や生産コストを削減し、農業生産活動の継続による耕作放棄地の発生を防止するとともに担い手となる認定農業者を育成していく。
- 当集落は、急傾斜地に農地が多く、遊休農地が増加傾向にある中、離農を希望する高齢者等と話し合った結果、集落内で共同して高齢者等を支援することとし、管理できないみかんの新植・改植や農地の基盤整備などをオペレーターが手伝えることで集落の一体化や活性化が図られ、「地産地消」を目指す直売所向けの野菜作りも多くなり活気が出てきた。また、共同利用機械（草刈り機、水揚げポンプなど）を購入し、道・水路の維持管理や稲作及び野菜畑の灌水等に加え、農業用水タンクの清掃、配管の点検・修理、取水ホースの交換、農道の離合場所の拡幅工事なども実施している。



農業用水の取水用駐車場の整備



農業用水ホースの交換、石垣の整備

[平成19年度までの主な効果等]

- 集落内のボーリング用水を共同管理し病虫害防除とかんがいに利用（用地面積の60%を実施、21年度までの目標100%）
- 認定農業者の育成（当初2名、目標3名、19年度実績2名）
- みかんの優良品種の更新やマルチ栽培を導入し高付加価値型農業を実践（当初1.9ha、目標5.2ha、19年度実績4.7ha）

集落協定の評価結果（長崎県N町M集落協定）

項目	該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
				達成率		
A 集落マスタープランの達成状況	○	—	○	—	○	
農業生産活動等として取り組むべき事項	B 耕作放棄の防止等					○
	⑤ 農地の法面管理	○	—	○	—	
	C 水路・農道等の管理					○
	① 水路の管理	○	—	○	—	
	② 農道の管理	○	—	○	—	
	③ その他の施設の管理	○	—	○	—	○
	D 多面的機能を増進する活動					
	① 周辺林地の下草刈	○	—	○	—	
	E 農用地等保全マップの作成・実践					○
	① 農地法面、水路・農道等補修・改良	○	—	○	—	
F A要件					△	
生産性・収益向上	① 機械・農作業の共同化	○	157,909㎡	133,280㎡		84%
	② 高付加価値型農業の実践	○	52,636㎡	47,372㎡		90%
担い手育成	② 認定農業者の育成	○	3名	2名		67%
				総合評価	良	

○鳥獣害対策や抑草等の実験で農地を守る

1. 評価結果

総合評価

可

地目別分類

田型

規模別分類

小規模

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	岐阜県G市W集落協定			
協定面積 1.8ha	田(100%) 1.8ha	畑	草地	採草放牧地
交付金額 374千円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	水路・農道維持管理		24%
		農道舗装・共同機械購入積立金		26%
協定参加者	農業者4人			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

(1) 農作業受託の推進による耕作放棄地の減少を図る。

鳥獣害防止のために電気牧柵等を設置し、農業生産及び農業所得の向上を図る。

木炭、木酢等を利用した地力の活性化や抑草に関する研究等を行い、除草作業の軽減や身体に優しい農業を目指す。



電気牧柵の設置



木酢による抑草研究

【平成19年度までの主な効果等】

- 電気牧柵の設置（H17年度より実施）
- 除草剤と木酢を使用した雑草の生育状況等の調査研究の実施

集落協定の評価結果（岐阜県G市W集落協定）

項目	該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
				達成率		
A 集落マスタープランの達成状況	○	—	△	—	△	
農業生産活動等として取り組むべき事項	B 耕作放棄の防止等					○
	④既耕作放棄地の保全管理	○	—	○	—	
	⑤農地の法面管理	○	—	○	—	
	⑥鳥獣被害防止対策	○	—	○	—	
	⑧簡易な基盤整備	○	—	△	—	
	⑫その他	○	—	○	—	
	C 水路・農道等の管理					○
	①水路の管理	○	—	○	—	
	②農道の管理	○	—	○	—	
	③その他の施設の管理	○	—	○	—	
	D 多面的機能を増進する活動					△
	①周辺林地の下草刈	○	—	○	—	
	⑥景観作物の作付け	○	—	△	—	
	⑩堆きゆう肥の施肥	○	—	△	—	
	⑪拮抗作物の利用	○	—	△	—	
	⑬輪作の徹底	○	—	△	—	
	⑭緑肥作物の作付け	○	—	○	—	
農業生産活動等の継続に向けた取組	E 農用地等保全マップの作成・実践					○
	①農地法面、水路・農道等補修・改良	○	—	○	—	
F A要件					△	
担い手育成	④担い手への農作業の委託	○	50a	27a		54%
多面的機能の発揮	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携	○	—	△	—	
総合評価					可	

○梨の品種更新と食育による地域連携

1. 評価結果

総合評価

可

地目別分類

畑型

規模別分類

小規模

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	兵庫県S町 T集落協定			
協定面積 3.9ha	田 (%)	畑 (100%) 梨	草地	採草放牧地
交付金額 45万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員手当・事務費		8%
		多面的機能増進費（品種更新・学校教育連携）		42%
協定参加者	農業者7人、農業生産法人1（構成員7人）			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- (1) 特産品として果樹園で梨の栽培を行い、生産法人による共同選果・出荷・販売をおこなっている。現在の基幹品種である二十世紀から後継品種へ品種更新を行い生産性を向上させる。あわせて有害鳥獣対策を共同で行い今後の営農活動の負担を軽減し、今後も果樹経営が継続できるよう取組む。
- (2) 集落の子ども達が通っている小学校と連携し、子供達と共に体験作業・試食会を開催することにより、食育教育・体験学習の推進を行っている。



品種更新の状況



体験作業の様子

【平成19年度までの主な効果等】

- 後継品種への品種更新（実績）：0.5ha（二十世紀→おさゴールド）
- 有害鳥獣対策：電気柵設置（延長L=2,000m）
- 体験学習会開催：年2回（袋かけ、収穫作業、試食会）

集落協定の評価結果（兵庫県S町T集落協定）

項目		該当有無	H21目標	H19実績		市町村評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	△	—	△	
農業生産活動等として取り組むべき事項	耕作放棄の防止等	○	—	○	—	○	
	鳥獣被害防止対策						
	水路・農道等の管理	○	—	○	—	○	
	農道の管理						
	多面的機能を増進する活動	○	—	△	—	△	
	その他活動						
農用地等保全マップの作成・実践		○	—	○	—	○	
農業生産活動等の継続に向けた取組	生産性収益向上	機械・農作業の共同化	○	0.5ha	0.2ha	40%	△
		高付加価値型農業の実践	○	0.5ha	2.76ha	552%	
		地場産農産物の加工・販売					
	担い手育成	新規就農者の確保					
		認定農業者の育成	○	1名確保	0名	0%	
		担い手への農地集積					
		担い手への農作業の委託					
	多面的機能の発揮	保健休養機能を活かした交流					
		自然生態系の保全に関する連携	○	教育機関との連携	△	—	
		多面的機能の持続的発揮に向けた連携					
B要件	集落を基礎とした営農組織の育成						
	担い手集積化						
加算措置	規模拡大加算						
	土地利用調整加算						
	耕作放棄地復旧加算						
	法人設立加算						
				総合評価		可	

○高付加価値型農業を目指した柑橘の改植

1. 評価結果

総合評価

可

地目別分類

畑型

規模別分類

標準

2. 集落協定の概要

市町村・協定名	和歌山県K市 H集落協定			
協定面積 7ha	田(%)	畑(100%) 柑橘・柿	草地	採草放牧地
交付金額 81万円	個人配分			49%
	共同取組活動 (51%)	水路・農道維持管理		30%
		生産性・収益向上対策費		21%
協定参加者	農業者20人			

3. 集落マスタープランの概要及び取組の内容

- (1) 集落内のあらゆる世代で継続的に安定した農業経営を営む集落を目指す。
- (2) 従来から集落として取組んできた農地法面等の定期点検や水路・農道等の管理に加え、認定農業者を育成し高付加価値型農業の実践に取組む。また、農作業が楽しくやりがいを感じられるよう農地やその周辺の整備にも取り組みたい。



農道の草刈作業



みかんをレモンに改植

[平成19年度までの主な効果等]

- 農業生産活動として農道の草刈や水路清掃に共同で取組み、集落内の農業環境の保全に努めた。
- 多面的機能の増進活動として、農地と一体となった周辺林地の下草刈りを行った。
- 生産性・収益向上活動として高付加価値型農業の実践に向けた取組みを行った。
- 担い手育成活動として認定農業者の育成に向けての取組みを行った。

集落協定の評価結果（和歌山県K市H集落協定）

項目		該当 有無	H21 目標	H19実績		市町村 評価	
					達成率		
集落マスタープランの達成状況		○	—	△	—	△	
農業生産活動 等として取り 組むべき事項	耕作放棄の防止等	○	—	○	—	○	
	農地法面の管理						
	水路・農道等の管理	○	—	○	—	○	
	水路の管理						
	農道の管理						
	多面的機能を増進する活動	○	—	○	—	○	
	周辺林地の下草刈り						
	農用地等保全マップの作成・実践		○	—	△	—	△
農業生産活動等の継続に向けた取組	生産性 収益向 上	機械・農作業の共同化					
		高付加価値型農業の実践	○	協定締結 面積の5 %	2.8%	56%	△
		地場産農産物の加工・販売					
	A要件 担い手 育成	新規就農者の確保					△
		認定農業者の育成	○	1人確保	0人	0%	
		担い手への農地集積					
		担い手への農作業の委託					
	多面的 機能の 発揮	保健休養機能を活かした交流					—
		自然生態系の保全に関する連携					
		多面的機能の持続的発揮に向けた連					
B要件	集落を基礎とした営農組織の育成					—	
	担い手集積化					—	
加算措置	規模拡大加算					—	
	土地利用調整加算					—	
	耕作放棄地復旧加算					—	
	法人設立加算					—	
				総合評価		可	